

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースピアノ・キーボード専攻											
専攻実技 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	小澤悠生			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
近年の音楽界の現場として、キーボーディスト等のプレイヤーも多ジャンルへの対応や臨機応変なプレイスタイル、演奏のみならず楽曲を正しく理解すること、またソロピアノとアンサンブルの違いを理解することがより大切になってきました。この授業では、片寄ったジャンルに限らず、コードや理論と共に、様々な状況でのキーボーディストとしての役割を的確に理解し、その場に応じたプレイスタイルを身に付ける。											
到達目標											
コードや音階など基礎的な理論を理解し、伴奏に適したプレイスタイルを習得する。コードに見合ったメロディを制作することで、アドリブ演奏に役立つ即興性を習得する。幅広いスタイルの音楽に触れ、演奏の対応力を上げる。											
授業方法											
キーボード（1人1台）を使用して授業を行います。各テーマに沿った課題のレクチャー、練習、アドバイスをし、次回への課題を発見します。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	ピアノの音色でバラード曲の演奏について、適切なボーシングやアプローチを理解出来る。										
第2回	1回目授業にて習得した技術を用いて、ピアノのみ演奏の場合の適切なバックギングスタイル（バラード用）で実際に演奏出来る。										
第3回	1、2回目授業にて習得し技術を用いて、バンド内演奏の場合の適切なバックギングスタイル（バラード用）で実際に演奏出来る。										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースピアノ・キーボード専攻	
専攻実技 1	
第4回	ピアノの音色でRock曲の演奏について、適切なアプローチを理解出来る。
第5回	4回目授業にて習得した技術を用いて、ピアノ音色で様々なバックギングパターン（Rock風）で実際に演奏出来る。
第6回	オルガン、ストリングス等Rock曲に合わせてシンセサイザーを実際に演奏出来る。
第7回	ピアノの音色でFunk曲の演奏について、適切なアプローチを理解出来る。
第8回	7回目授業にて習得した技術を用いて、ピアノ音色で様々なバックギングパターン（Funk風）で実際に演奏出来る。
第9回	Clavinet、エレクトリックピアノ等Funk曲に合わせてシンセサイザーを実際に演奏出来る。
第10回	ピアノの音色でJazz曲の演奏について、適切なアプローチを理解出来る。
第11回	10回目授業にて習得した技術を用いて、ピアノ音色で様々なバックギングパターン（Jazz風）で実際に演奏出来る。
第12回	エレクトリックピアノでのJazz風バックギングを学び、11回授業で習得したピアノ音色でのバックギングとのボーシングの違いを理解出来る。
第13回	1コード（メジャーキー）のアドリブ演奏が出来る。
第14回	1コード（マイナーキー）のアドリブ演奏が出来る。
第15回	8～14回目に習得した技術を元に、自由曲にて授業内発表会を行う。